

平成29年1月定例教育委員会会議録

1. 日 時 平成29年1月12日(木)午後2時
2. 場 所 泉佐野市役所4階 庁議室
3. 出席委員 教育長 奥 真弥
教育長職務代理者 北浦 秀樹
委 員 南 一早枝
委 員 山下 潤一郎
委 員 中村 スザンナ
委 員 赤坂 敏明
4. 説明のために出席した職員の職、氏名
教育部長 上野 正一
スポーツ推進担当理事(兼)スポーツ推進課長 谷口 洋子
教育総務課長 樫葉 浩司
教育総務課教職員担当参事 茶谷 由孝
教育総務課施設担当参事 福島 敏
教育総務課文化財担当参事 鈴木 陽一
教育総務課学校給食担当参事(兼)中学校給食センター所長 藪 剛司
学校教育課長 辻 和彦
学校教育課学校指導担当参事 明渡 賢二
学校教育課人権教育担当参事 和田 哲弥
学校教育課 指導主事 松繁 健市
青少年課長代理 田中 伸宏
生涯学習課長 山隅 唯文
(庶務係) 教育総務課主幹兼係長 森 昌俊
5. 本日の署名委員 委 員 中村 スザンナ

議事日程

報告第1号 教育委員会後援申請について

報告第2号 教育委員会後援実施報告について

議案第1号 泉佐野市立学校の府費負担教職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則の一部を改正する規則の制定について（教育総務課）

議案第2号 平成29年度全国学力・学習状況調査への参加及び協力について（学校教育課）

（午後2：00開会）

奥教育長

ただ今から平成29年1月の定例教育委員会議を開催します。

本日の傍聴はございません。

本日は畑谷委員が欠席ですが、過半数の委員が出席しているため、会議が成立しています。

本日の会議録署名委員は、中村委員にお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

それでは、本日の審議に入ります前に、12月定例教育委員会議の会議録についてご確認をお願いいたします。委員の皆様で何かお気づきの点がありましたら、お願いいたします。

無いようでございますので、会議録の確認は終了させていただきます。恐れ入りますが、山下委員は後ほど署名をお願いします。

奥教育長

それでは、本日の審議に入りたいと思います。

まず、報告第1号「教育委員会後援申請について」を議題といたします。報告をお願いします。

樫葉教育総務課長

教育長専決により教育委員会の後援名義使用を承認した事業について、報告資料第1号に基づいて説明。新規1件、継続2件の事業内容について、一括で報告。

奥教育長

ただいま報告がありましたが、委員の皆様でご意見、ご質問等がございましたらお願いします。

奥教育長

無いようでございますので、以上で報告第1号を終わります。

次に、報告第2号「教育委員会後援実施報告について」を議題といたします。

報告をお願いします。

樫葉教育総務課長

報告第2号については、教育委員会で後援承認したものであり、実施報告ということで、報告資料第2号をもって説明にかえさせていただきます。

奥教育長

ただいま報告がありましたが、委員の皆様でご意見、ご質問等がございましたらお願いします。

奥教育長

無いようでございますので、以上で報告第2号を終わります。

奥教育長

続いて議案審議にうつります。

議案第1号の「泉佐野市立学校の府費負担教職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則の一部を改正する規則の制定について」を議題といたします。説明をお願いします。

茶谷教職員担当参事

本市の小中学校に勤務する府費負担の教職員の介護時間に係る手続きについて、小中学校の府費負担教職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則の一部改正をお願いします。これは、「地方公務員の育児休業等に関する法律」、「職員の育児休業等に関する条例」及び「職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例」等の改正により、大阪府教育委員会が「府立高等学校等の職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則」の一部改正を行ったことに伴い、1月1日付施行する旨、昨年12月27日に大阪府教育庁より通知があり、本市でも同様の規則改正が必要になったためです。

新旧対照表をご覧ください。「週休日の振替等」第5条中「介護休暇」の次に「介護時間」を加え、改めるものです。「介護時間」は新設の特別休暇で、介護を必要とする一に継続することによって連続する3年の期間内において、1日につき2時間を超えない範囲の休暇です。特別休暇が承認された時間については、勤務時間1時間あたりの給与額が減額される、。いわゆる無給の特別休暇であります。

本日の教育委員会議において、承認いただき施行となりますが、大阪府教育庁の通知のとおり、さかのぼって1月1日付施行でお願いいたします。

説明は以上です。ご審議のほど、よろしく申し上げます。

奥教育長

ただいま、教職員担当参事から説明がありましたが、委員の皆様でご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。

奥教育長

無いようですので、議案第1号の「泉佐野市立学校の府費負担教職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則の一部を改正する規則の制定について」は、原案どおり承認することとしてよろしいでしょうか。

[異議なし]

ご異議がございませんので、本議案は、原案どおり承認することに決定いたしました。

奥教育長

次に議案第2号の「平成29年度全国学力・学習状況調査への参加及び協力について」を議題といたします。説明をお願いします。

明渡学校指導担当参事

議案第2号につきましては、担当の松繁指導主事から説明させていただきます。

松繁学校教育課指導主事

平成29年度全国学力・学習状況調査より、「調査結果の個票データ等を大学等の研究者や国等の行政機関の職員に貸与すること」と新たに規定されました。また、平成28年度までの調査結果につきましても、各市町村の意向及びガイドライン等に基づき同様に貸与されることとなります。

これらの趣旨・目的につきましては、「学校教育の成果や課題についての透明性の向上を図り、適切に説明責任を果たすとともに、それらの情報を活用した学校教育の改善・充実や学術研究の高度化に役立てるため」となっております。

また、データ等の利用目的が「我が国の児童生徒の学力、学習状況または生活環境等の把握・改

善」、「我が国または教育委員会の教育施策の改善・充実に資すること」に該当すると文部科学省が確認した場合に限り貸与が認められます。公表・貸与するデータにつきましては、匿名化の度合いに応じて次の3つのレベルのデータが検討されております。

1つ目のレベルとしまして、全国から小中2000名程度を無作為抽出し、都道府県名を含む地域情報や学校質問調査などの一部を除いて匿名化したことによる、最も匿名化の度合いが高いパブリックユースデータ。2つ目のレベルとしまして、全国から2割程度を無作為抽出し、都道府県名を含む地域情報や、一定水準以下の小規模校のデータを削除したパブリックユースの次に匿名度の高い匿名データ。そして、3つ目のレベルとしまして、学校名も含む全ての情報が含まれる個票データとなっております。また、公表や貸与につきましては、匿名度が低くなるにつれて審査基準が厳しくなり研究の必要性や合理性を審査された上で行われます。

なお、全国学力・学習状況調査におきましては、児童生徒の氏名を取得しない方法で実施しており、調査結果等のデータは原則として行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律における個人情報には該当いたしません。また、総務課にも今回のデータ貸与につきまして確認させていただきましたところ、本市の個人情報保護条例等には抵触しないとの回答をいただきました。

事務局といたしましては、今年度までの調査結果データの貸与につきまして3つのレベル全てに協力したいと考えております。説明は以上です。データの貸与についての協力につきまして、ご承認くださいますようお願いいたします。

奥教育長

ただいま、松繁指導主事から説明がありましたが、委員の皆様でご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。

中村委員

これは現場の校長先生方は、明日（の校園長会で）初めて聞く話ですか。

奥教育長

これについては現場の校長先生の意見を聞いて（承認する）ということではなくて、教育委員会サイドで了解していただくことで結構でございますので。説明は明日（校園長会で）してくれるのですか。

松繁学校教育課指導主事

平成29年度の説明につきましては、明日の校園長会でさせていただきます。その際、変更点が5点ございますので説明させていただきます。

南委員

これは今年が初めてですか。

奥教育長

そうです。過去10年間のデータを大学での研究に使用するとか、国の行政機関の編集など分析を一層進めて行くために、それを使っても良いかどうかということです。私も本市の個人情報保護条例に抵触しないかということが心配だったのですが、松繁指導主事が申しましたが、心配ないということです。個人情報保護条例の中で「実施機関（教育委員会）は、個人情報を取扱い義務の目的以外に個人情報を当該実施機関において利用し、または当該の実施機関以外のもの（学力・学習状況調査）に提供してはならない」となっています。ただし次の各号のいずれかに該当する場合はこの限りではなく、1つ目が該当するものの中身が本人の同意があるとき、2つ目が法令等の規定に基づくとき、3つ目が出版報道等によって公にされているとき、4つ目が個人の生命や身体または財産保護のため緊急かつやむを得ないと認められるとき、5番が同一実施機関内で利用し、または他の実施機関に提供する場合で、個人情報を利用または提供することが当該実施機関の所掌事務の遂行に必要かつ不可欠なものであり、かつ当該利用または提供によって本人または第三者の権利・利益を不当に侵害する恐れがないと認められるとき、6つ目が前各号に掲げる場合の他、公益上特に必要があると実施機関が認めるとき。このいずれかに該当していれば目的外でも提供してもいいということになっております。他市の教育委員会では、本人の同意があるときがあったり、各市町村の個人情報保護条例には若干違う点もあったりして、心配されて確認してからということも

ありました。いずれかに該当するということがありますので。別に本人の同意がなくても5番でいう、提供することが必要かつ不可欠なものであり、その検証結果をもらって有益なことになることとか、かつ本人または第三者の権利・利益を不当に侵害する恐れについても、文部科学省がしっかり審査するといっていて、仮に個票のデータを利用する場合は市町村教育委員会に了解を得るということになっております。その点も心配はないだろうという判断で、3つの段階すべてのデータについて貸与してもいいと報告をしようと思っています。

中村委員

これに協力することによって、泉佐野市にはどのようなメリットがありますか。

奥教育長

大学等で調査・研究の対象として、分析を深めてくれて、公表してくれると思います。

中村委員

分析結果は毎年、下りてくるのですか。

奥教育長

毎年下りてくるのか、数年のデータをまとめて下りてくるのかわかりません。過去十年間のデータの分析となると、かなり…

中村委員

時間がかかりますよね。

奥教育長

そうですね。

奥教育長

29年度からは、その事も含めて大学等にデータを貸与しますということを確認した上で、我々も参加しますので問題ないのですが、今までそのような方針を打ち出していないのに、過去十年間のデータを貸与してもいいのかどうかということです。

赤坂委員

30年度からは、単年度でそのような資料を貸与するのですか。

奥教育長

29年度の調査からは、結果のデータについては貸与するということです。

中村委員

試験は4月に受けますよね。

奥教育長

今年の4月18日ですね。

北浦委員

データ貸与の申込みの都度、教育委員会で検討するということですか。

奥教育長

一番匿名度が低い個人の個票データを使うとなれば、必ず文部科学省も市町村の教育委員会に、データ使用の確認をしてくれるということです。

北浦委員

それであれば、良いのではないのでしょうか。

奥教育長

他にございませんか。

無いようですので、議案第2号の「平成29年度全国学力・学習状況調査への参加及び協力について」は、原案どおり承認することとしてよろしいでしょうか。

[異議なし]

ご異議がございませんので、本議案は、原案どおり承認することに決定いたしました。

奥教育長

次にその他でございしますが、谷口理事より前回の説明の付け加えをお願いします。

谷口スポーツ推進担当理事（兼）スポーツ推進課長

12月に後援依頼をお願いしましたOUHSスポーツキャンプについて中村委員からご質問があったのですが、お答えすることができず申し訳ございませんでした。残念ながら今年のチラシがまだできあがっておりませんが、昨年度と方式は一緒ですので説明させていただきます。OUHSスポーツキャンプは大阪体育大学の学生が中心となって泉佐野市熊取町の子どもたち、小中学生や大人の方たちを指導することによって大学と地域の交流を目的としたイベントとなっております。前回参加料2,000円で複数のプログラムを受けられるのかという質問でしたが、種目ごとに定員が決められておりました。午前2時間、午後2時間、同じ種目について指導して頂けるということです。ひとりで二つの種目を受けるのは、難しいということです。参加料2,000円の内容ですが、9時半から開会式がありまして、10時から12時まで2時間、12時から1時半まで休憩と昼食があって、1時半から3時半までまた指導がありまして、3時半から閉会式ということです。その間の参加された子どもさんの昼食代、保険代、みなさんに当日配布されるイベント用のTシャツ代に当てられているということです。説明は以上でございます。

奥教育長

中村委員、よろしいですか。

中村委員

はい。ありがとうございます。

奥教育長

次に辻課長から子どもまつり参加人数についてお願いします。

辻課長

子どもまつりについて出席者数のお問い合わせがありましたけれども、確認しましたところ、末広グラウンドでやっておりまして、特に受付を設けずに自由参加でやっておりますのできちっとした数字は把握していないということです。ブースが15カ所ありまして、常時各ブースに30人くらいいらっしゃっていたので、だいたい同じ時間帯には400～500人くらいいらっしゃったと推定しています。1日延べにしますと2000人くらい来て頂いたのではないかなというのが主催者さんのお話しでした。以上です。

奥教育長

ありがとうございます。よろしいでしょうか。

続きまして田中課長代理より成人式の報告をお願いします。

田中青少年課長代理

委員の皆さま方におかれましては、成人祭にご出席くださりまして、ありがとうございます。毎年このタイミングで参加者数等を報告させて頂いております。2017年1月9日成人式ですが、ハガキを送った市内の対象者の方が1235人、その内お越しいただいて、ハガキを投函して頂いた方が825人で、率にしますと66.8%。昨年が68.9%その前も66.9%で、だいたい毎年67%前後の参加率となっております。市外の方もお越しいただいたり、ハガキを投函されない方もいらっしゃ

いますので、もう少し率は高いかと思えます。だいたい70%弱ということでございます。以上でございます。

奥教育長

何かご質問はございますか。

中村委員

この抽選会の箱の中に入った数が825ということですか。

田中青少年課長代理

そうです。男性が401人で女性が424人です。

中村委員

成人式は障害のある方も健常者も一緒にということですよ。詳しくは見えていないのですが受付のところ、持参されていない方とかあったように思います。例えば車椅子参加とか障害のある方には、保護者の方もご一緒にどうぞという案内はされていたのでしょうか。

田中青少年課長代理

来賓の方のところアナウンス（掲示）させていただいております。今回は車いすのかたがお越しになっていたの、介護の方は隣に椅子を出して座っていただいております。お渡しするものの袋の中に入っているものの主な物を活字訳したものを作っております。また壇上で手話通訳させていただいております。

南委員

今年はたくさんの方が中に座ってらっしゃったように見受けられましたが、どうだったのでしょうか？

田中青少年課長代理

委員さんが着席されてから式に入るまでの間、青年団協議会のものが外にいる人の中に入れるようにしています。担当者によると、今年の子は入るように促すと非常にスムーズに入ったということです。座り方が前だったり後ろだったりバラつきがあるかもしれませんが、数字を見る限りは変わっていないはずですよ。

北浦委員

以前は前の真ん中あたりがもっと空いていたのが去年、今年と割と上手く誘導できたのかなとは思っています。

田中青少年課長代理

特に前の椅子に座ってくださいというアナウンスはしていないと思うのですが、前のほうに座る子が増えてきた印象が私もあります。

中村委員

朝の送迎や、式が終わるまでの待ってらっしゃる親御さんの路上駐車が多く見受けられました。あの時の警備や案内はどのようなのですか。

田中青少年課長代理

駐車禁止に関しては、始まるまでにマイクで2度ほど注意を促すようにはしているのですが、運転手は乗っているの、駐車でもありませんし、移動してくださいというのはなかなか難しいのかなと思います。終わってから12時過ぎでも、まだまだ車が止まっている様な状況でした。

中村委員

危ないですよ。

田中青少年課長代理

危ないですね。二重駐車になっていますし。

中村委員

二重駐車の間隙を他の車がすり抜けるので危ないですよ。事故などは起こりませんでしたか。

田中青少年課長代理

今のところありません。私も担当して3年くらいになりますが、成人式ということで大目に見て頂いているのかもしれませんが、路上駐車に関するクレームはいただいておりません。路上駐車などはしないようにという話だけはしておきます。

山下委員

成人式や教育フォーラムとか手話通訳の方がいらっしゃいますよね。質問ですが、ある程度の大きなイベントになると、耳の聞こえない方がいるいないにかかわらず、手話通訳者に来ていただくような規程があるのですか。

田中青少年課長代理

最近の方針として、耳の聞こえない方が来られる来られないとか把握している、いないにかかわらず、委員さんがおっしゃるようなある程度の人数がくる会議になりますと手話通訳者の方に来ていただくという方向になっております。

山下委員

ある程度の規模というのがよくわかりませんが、例えば教育委員会表彰くらいの規模でひよっとしたら耳の聞こえない方がいらっしゃるかもしれない。成人式や教育フォーラムとかホールでやっているから、数百人が来るのは確実だと。基準というものは特にはないのですよね。

田中青少年課長代理

覚えている範囲ではないのですが、50人くらいを超える会議になってくれば、どういう内容の会議かにもよりますが、50人から100人超えたら来てもらっているように思います。できるだけ障害者差別を無くすという意味では、できるだけたくさん入った方がいいと考えておりますので、予算の都合等もありますが、できるだけ手話通訳の方に入っていただくようには、市としての方針は取っていると思います。

上野部長

昨年の4月1日に障害者差別解消法というのが国の法律として施行されております。その中で求められているのが2点あって、合理的配慮ということと差別的取り扱いの禁止です。その中の合理的配慮の提供ということですね、さきほど中村委員からご質問がありましたけれども、受付のところに配慮が必要な方がいましたらお申し出くださいと張り紙をさせていただいるのもその一つですが、手話通訳については今回不特定多数の方、新成人ということですが、その中にはどういう障害を持っておられる方がおられるか把握できていない状況の中で、手話通訳は必要であるという判断で、50人程度と言いましたけれども基本的に人数にかかわらず、そういう方がおられる可能性があれば、市としてそういう対応をしていくことは必要だと考えているところです。

中村委員

その張り紙でお問い合わせくださいという内容はどれくらいの範囲、種類を対応できる準備をされていたのですか。障害でもいろいろな種類の障害がありますが。

田中青少年課長代理

個別の事例を想定をしているわけではないのですが、車椅子の移動などは当然考えておりましたが、おっしゃられる通り、いろいろなパターンがありますのでできるだけことはさせていただこうとは思っております。

奥教育長

他にございませんか。特に無いようでございますので、教育長報告に移ります。

まず1点目、泉南地区5市3町教育委員会と和歌山大学教育学部との包括連携協力に関する協定について、12月27日に5市3町の教育長が和歌山大学に出向きまして、締結をしまいいりました。泉南地区5市3町の包括的な連携協力に関する協定ということでございますので、申し訳ございませんが私の専決でさせていただきました。その内容は、和歌山大学は和歌山県の教育の中心であるので、教員の養成や職員の資質向上、あるいは研究の充実発展に尽くす使命があるのですが、泉南地区も和歌山圏内だという考え方で、してやっていきたいという趣旨で協力協定を結ばさせていただきました。具体的には、学校現場のニーズを踏まえて、泉南地区在住で和歌山大学に通っている学生による教育ボランティアの派遣していただいて学んでいただく。また、学校現場のニーズにおいて協力していただく、教育活動や教職員の資質向上のための支援を大学のほうからしていただくとか、あるいは現場の厳しい実状をわかっていただいたり、現場いろんな課題の情報提供により大学の教員養成課程に活かしていくとか、教育諸課題の解決に向けて大学の調査や研究において連携、協力していく、お互いにメリットがあるという教育連携ということで、趣旨に沿って連携をさせていただきました。

続きまして、1月の校園長会での指示・指導事項について報告させていただきます。明日、校園長会が予定されていまして、通常とは逆（教育委員会議が先に行われている）になってしまうのですが、資料に書かれている項目です。学力向上に向けましては、最終的には現場の先生方が指導力を発揮していただくということになります。しかしながらそれを統括していく校長先生におかれましても、学校全体の運営や学力の向上に向けて、来年度に向けて研修会を臨時に行っていきたいと思ひまして、設定をさせていただきました。2月17日（金）10時から開催させていただきます。講師には、泉佐野市の実情をよく分かっていただいている、いろんなノウハウをもっている泉佐野市学力向上アドバイザーの谷口恵司郎先生にきていただいて、課題は「学力向上、学校力向上」という題でお話しをして頂きたいと思ひしております。それと先程ありましたけれども、平成29年度の全国学力学習状況調査につきましては、4月18日（火）に中学校3年生と小学校6年生を対象に行います。内容的な事には変わりありませんが、参加した児童の中から抽出で、保護者の調査も5月に入るということで、割合は全国で小学校が約1,200校、中学校が約800校程度です。子どもの質問紙には家庭の状況等答えることもありますが、親自身も答えてもらって保護者調査も行うということです。

2番目は評価育成システムの面談について。これは毎年最終的な評価をさせていただくための面談をさせていただくということです。評価育成システムで、次年度アクションを評価シートに書いていただいておりますが、学力向上のためにどのような次年度アクションを考えておられるのかを重点的に聞きたいと思ひしております。

3つ目は国際交流について。ウガンダ共和国から泉州国際マラソンに参加するマラソン選手が来てくれていて、2月21日に、小学校1校及び中学校1校と交流としてきていただく予定をしております。まだ学校は決まっておりますが、明日（の校園長会で）早急に決定したいと思ひしております。

4つ目の土曜授業日の勤務についてということで、これもいろいろ課題があつて、なかなか残業というか普段の意識がこの土曜日の授業の日も残っている、土曜授業は現場の先生方には肉体的にも負担をかけているわけですが、徹底して定時退校していただくことをお願いしようと思ひしています。

5つ目、その他といたしましては特認校等の状況についての報告と、和歌山大学との協定のこと。また教育委員会表彰が例年第3土曜日なのですが事情により第4土曜日、土曜授業の日ですが午後2時からさせていただきます。なおこども食堂についてですが、子どもの貧困の問題から居場所づくりや貧困対策のモデル事業として10月から始まっていますので、若干説明させていただこうと思ひしております。それと公共施設の再配置計画ということで、社会福祉センターが保健センターの場所に移転して、保健センターが本庁に入ってくることとか、今まで説明できていなかったのかわかっている範囲で説明させていただこうと思ひしております。あとはMOA美術館児童作品展の作品の搬入、搬出について連絡をさせていただくということでございます。

私からは以上です。何かご意見、ご質問等がありましたらお願いします。

中村委員

泉佐野市の現職の教職員の和歌山大学出身者のパーセンテージはわかりますか。

茶谷教育総務課教職員担当参事

今、手元には持ち合わせていませんが、数字はもっていますので、後ほどご報告いたします。

中村委員

わかりました。国際交流のことですが、小学校と中学校はすでに決定していますか。

奥教育長

12月の段階で話はしてありますが、まだ正式には決まっています。明日の校園長会で手をあげてくれたらそれでいいですし、駄目でしたら他の学校にお願いさせていただくのですが。このような国際交流については学校現場でどんどん取り入れてやっていかないといけないと思っておりますので。せっかく著名なランナーが来てくれて、ウガンダ共和国はロンドンオリンピックでも金メダルをとられてね。

中村委員

この方が金メダリストではないですよ。

谷口理事

金メダリストについて、泉州マラソンで走らせてほしいとお願いにいったのですが、極端に一人だけ早いランナーがいると、道路の封鎖等の協議が終わっておりまして、警察のほうからの許可が下りないということで、今回はやめてほしいということでした。この方もウガンダ共和国のトップ選手ですけれども、日本の実業団と同じくらいの実力をお持ちの方です。来ていただけるということでこの方に決まったと聞いております。ロンドンオリンピックで金メダルの方は速すぎるということ。

奥教育長

ロンドンオリンピックでウガンダ共和国は金メダルをとったということですよ。

谷口理事

そうです。初めはその方に来てほしいとお願いはしていましたが、1人だけ早いと道路を封鎖してもみんなずっと待っていないといけなくなるので。

赤坂委員

トップの選手から時間を計って何分以内で、という方法でコースの閉鎖をするのですか。

谷口理事

トップの選手からの時間ではなく、距離と制限時間の組み合わせで閉鎖を決めております。

上野教育部長

今まで検討してきた交通規制が変わるからやめてくれということなんですよ。

谷口理事

警察との協議が終わってからそういう話になったので、10分15分とはいえ早く車を止めないといけないことになると、当然その間、警察の方を含め、ボランティアの方も早くから閉鎖をしないと駄目ということになり、全体の計画が壊れてしまうということ。

中村委員

この方はいつごろから来日されるのか具体的な日程はわかりますか。

谷口理事

たぶん木曜日か金曜日に来られると思いますけれども。

中村委員

それで泉州マラソンに出られて、お休みされて火曜日に小学校等を回ってくださるということですが、その間のことは市としてはノータッチなのですか。

奥教育長

いや、もちろん学校と調整させていただいて、交流を進めます。これは市民協働課からきている話なので、ノータッチではないです。

谷口理事

たぶん i c a さんの歓迎会や、いろんな市内の日本の文化を紹介したりするなかで、学校にも来ていただくのだと思います。東京オリンピックでは泉佐野市がウガンダ共和国のホストタウンということが決定しました。そういうこともあって、学校にもということだと思います。

山下委員

去年はサンシャインコーストとモンゴルから来られましたよね。

檜葉教育総務課長

はい。山下委員にもお世話になって。

山下委員

一緒に近所の神社に行きましたね。それはもうなくなったのですか。また来られるのですか。

上野部長

サンシャインコーストは、向こうのほうからのマラソン選手の派遣はできませんと言われました。、こちらからサンシャインコーストへのマラソン選手の派遣は継続する予定なのですが。

山下委員

モンゴルからは来られるのですか。

上野部長

モンゴルは来られます。

赤坂委員

泉州マラソン自体、自分でグレードを決めているような感じがするのですけどね。実行委員さんが一生懸命やられているが、そういうトップの選手を呼んでグレードを上げる、上昇志向がない感じがします。

谷口委員

今年は言うのが遅すぎたので、警察にもすべて警備計画が出てからのお願いでしたので、来年は早めに協議をすればそれなりの警備体制をとれるということです。

中村委員

フルマラソンは抽選なんですよ。

谷口委員

大体2倍くらいですかね。5,000人のところ10,000人くらいの申し込みがあります。

中村委員

10kmマラソンはいけましたけれども、浜寺公園出発で浜寺に戻ってくるという。こっちで走れるとばかり思っていたので。向こうで頑張ってきます。

奥教育長

事務局の方で他にございませんか。

特に無いようでございますので、本日の委員会に付議されました議題はすべて終了いたしました。次回の2月定例教育委員会会議は、2月2日の木曜日、午後2時から、市役所4階 庁議室で開催

いたします。

それでは、これをもって本日の会議は終了いたします。

(午後2時58分閉会)

-